

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010020

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 主体的な健康づくりの促進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	食育推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所 12 教育委員会教育振興課	
事業指標	食育関連事業参加者数の増	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	前年度対比の増	関係例規・法令名	有 食育基本法、母子保健法	
住民参加 住民協働	有 健康的な食生活改善への取組	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	乳幼児期から成人期まで一貫的な食育に関する事業を推進することにより健康増進・生活習慣病などの予防と生活の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象者食育講話、調理体験事業 ・保育所児童・保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象者食育講話、調理体験事業 ・保育所児童・保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	
	計画事業費	事業費(千円)	432	72	120	80	80
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	432	72	120	80	80	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	100	22	78	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	100	22	78				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 284名 ・児童・生徒対象食育事業538名 ・健康食の調理実習 16名 ・食育講話 154名 合計992名 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 349名 ・児童・生徒対象食育事業263名 ・健康食の調理実習 46名 ・食育講話 148名 合計806名 			
			※事務事業評価結果 Aー継続/現状維持	※事務事業評価結果 Bー継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	31%	65%	0%	0%	0%
	全体達成率	5%	23%	23%	23%	23%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	食育推進事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原真由美

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	食育関連事業参加数		
【抱える課題やニーズは】	食事を通じた生活様式の多様化が健康課題に大きな影響を与える可能性がある		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病等の予防と合わせて、楽しみや潤いがある地域特性に合った食生活を実現することができる		① 食育関連事業参加者数(前年比)	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病等の予防や食生活の充実により生活の質(QOL)の向上が実践できる町民が増える			目標値	992人
			実績値	806人	
			達成度	81.3%	
		②	目標年度	平成26年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	食育に関する健康学習の実施	乳幼児相談、保育所児童を対象とした食育講話、成人対象の栄養改善教室、調理実習等集団支援を行った			
	個別栄養相談の実施	乳幼児健診、家庭訪問等により町民各自の食生活状況を把握しながら個別相談を行った。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	食育基本法を始め、健康増進法等などでも栄養改善、食育推進は市町村として必要な事業である。
必要/概ね必要		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
課題あり		<input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	児童生徒への食育事業参加者は減少したが、調理実習等参加者数は増加しほぼ目標を達成することができた。個別性が高く、経過の関わりが必要な事業であり、今後もきめ細かな事業展開を継続することが必要である。
有効/概ね有効		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	各種事業と同時実施を行う等事業の効率化を図った。食材や食材モデルの活用や保存などコスト削減に努めた。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的		<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり		<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	調理実習の事業は実費負担を徴収したが、その他の事業は受益者負担なし。食育の基盤づくりとして乳児期の離乳食から児童とその保護者、成人期や高齢者等幅広く公平に事業を行った。
		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
食生活は特に個別性が高い課題であり、個別支援を中心に事業を実施し、概ね目標を達成したと判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
健康増進、生活習慣病予防を図る上で、食生活の課題は重要であり、今後も事業内容を工夫しながら事業展開を行っていく。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止